



株 主 通 信

第39期第2四半期報告

2011年2月1日 ▶▶ 2011年7月31日



マックスバリュ中部株式会社

証券コード 8171



代表取締役社長 正木雄三

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

ここに、第39期第2四半期の報告をさせていただくにあたり、日頃のご支援に対し厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、東日本大震災の影響による生産活動の低下や輸出の減少が発生し、企業収益の減少や設備投資の鈍化、電力不足による事業活動の停滞等、深刻な影響が出ております。

小売業界におきましても、厳しい雇用情勢による個人消費の冷え込みや原材料の高騰、更には原発事故による風評被害等、様々な震災の影響を受け、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は地域社会への貢献と継続的な成長を目指し、更なる収益基盤の確保とローコスト経営の実現による収益性の向上に努めてまいりました。

収益基盤の確保に向けた取り組みとして、イオンのグループ力を活かした商品調達やトップバリュをはじめとするプライベートブランド（PB）商品の更なる拡大により、競争に打ち勝つ価格の実現に取り組みました。また、イオンの食品ディスカウント業態「ザ・ビッグ エクスプレス」の三重県内第1号店として、2011年3月にマックスバリュ ユーズ店を「ザ・ビッグ エクスプレス 鈴鹿 ユーズ店」（三重県鈴鹿市）に業態転換し、前期に業態転換した2店舗同様、売上高は好調に推移しております。その他、基幹店舗のマックスバリュ津北店（三重県津市）の大型改装をはじめ、収益力向上に向けた既存店舗の活性化を実施しました。更に、食の安全・安心が一層重要視される中、生産者の顔が見える安心食材としてお客さまから支持の高い「地場産品コーナー」の拡大にも積極的に取り組みました。

ローコスト経営の実現に向けては、効率的な店舗オペレーションを実現する販売什器の導入、省エネ設備の導入、節電への取り組みなど、業務の効率化と経費の削減を推進しました。

これらの取り組みにより、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高は、前年同期比102.0%（当初計画101.0%）となり、既存店客数は101.7%、既存店客単価は100.3%となりました。1品当たりの平均単価は減少傾向（既存店前年同期比98.5%）にあるものの、ディスカウント業態の牽引やイオンの電子マネーWAON（ワオン）のボーナスポイント付与等が客数・買上点数の増加に寄与したことなどから、既存店売上高が当初計画を上回る結果となりました。また、売上高荒利益率についても、PB比率の向上やロスの削減などにより24.6%（当初計画24.2%）と当初計画を上回りました。

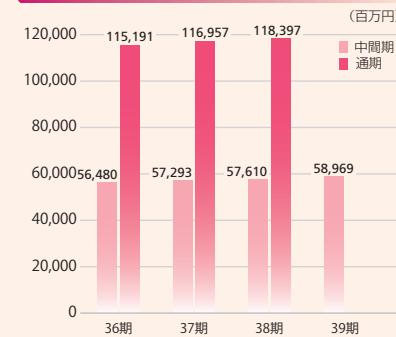
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、営業収益589億69百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益8億7百万円（同42.5%増）、経常利益8億35百万円（同21.7%増）となりましたが、特別損失として資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額5億71百万円、減損損失1億円等で7億6百万円を計上したことにより四半期純損失は45百万円（前年同期は1億50百万円の四半期純利益）となりました。

第3四半期以降につきましても厳しい経営環境が続くことが予想されます。こうした中、8月にマックスバリュ東近江店（滋賀県東近江市）、9月にマックスバリュ米野木店（愛知県日進市）、10月にマックスバリュ長久手店（愛知県愛知郡長久手町）、マックスバリュ大矢知店（三重県四日市市）の4店舗の新規出店に加え、9月にバリュースセンター五女子店（名古屋市中川区）を「ザ・ビッグ エクスプレス五女子店」として業態転換するほか既存店舗の活性化を予定しており、社業の一層の飛躍に向け邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2011年10月

営業収益



営業利益



経常利益



当期純利益



総資産



純資産



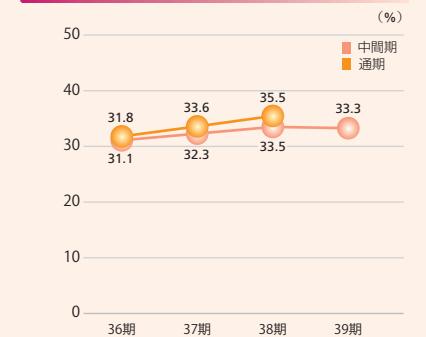
1株当たり純資産



1株当たり当期純利益



自己資本比率



● 四半期連結貸借対照表

単位:百万円

| 区 分 | 当第2四半期末 (2011年7月31日現在) | 前連結会計年度末 (2011年1月31日現在) |
|--------------|---------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 8,606 | 6,971 |
| 固定資産 | 32,138 | 32,154 |
| 有形固定資産 | 23,616 | 23,541 |
| 無形固定資産 | 1,200 | 1,392 |
| 投資その他の資産 | 7,321 | 7,220 |
| ● 資産合計 | 40,744 | 39,126 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 19,820 | 19,821 |
| 固定負債 | 7,301 | 5,361 |
| ● 負債合計 | 27,122 | 25,182 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 13,615 | 13,904 |
| 資本金 | 3,850 | 3,850 |
| 資本剰余金 | 5,416 | 5,416 |
| 利益剰余金 | 4,415 | 4,714 |
| 自己株式 | △ 66 | △ 76 |
| 評価・換算差額等 | △ 47 | △ 11 |
| 新株予約権 | 54 | 50 |
| ● 純資産合計 | 13,622 | 13,943 |
| 負債純資産合計 | 40,744 | 39,126 |

資産合計

資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億18百万円増加し、407億44百万円となりました。増加の主な内訳は、現金及び預金が14億7百万円、長期繰延税金資産が2億96百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計

負債合計は、前連結会計年度末に比べ19億39百万円増加し、271億22百万円となりました。増減の主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金が14億4百万円、短期借入金が5億円減少しましたが、買掛金が15億38百万円、資産除去債務が10億46百万円、長期借入金が10億20百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少し、136億22百万円となりました。

● 四半期連結損益計算書

単位:百万円

| 区 分 | 当第2四半期累計 (2011年2月1日から 2011年7月31日まで) | 前年同期間 (2010年2月1日から 2010年7月31日まで) |
|--------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------|
| 売上高 | 57,544 | 56,149 |
| 売上原価 | 43,388 | 42,544 |
| 売上総利益 | 14,155 | 13,604 |
| その他の営業収入 | 1,424 | 1,460 |
| 営業総利益 | 15,580 | 15,065 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,772 | 14,499 |
| 営業利益 | 807 | 566 |
| 営業外収益 | 91 | 189 |
| 営業外費用 | 63 | 69 |
| 経常利益 | 835 | 686 |
| 特別利益 | 8 | 10 |
| 特別損失 | 706 | 188 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 137 | 508 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 406 | 303 |
| 法人税等調整額 | △ 224 | 55 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △ 45 | — |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △ 45 | 150 |

四半期連結損益計算書

営業収益(売上高とその他の営業収入の合計)は、589億69百万円(前年同期比102.4%)となりました。販売費及び一般管理費が147億72百万円(前年同期比101.9%)となり、営業利益8億7百万円(前年同期比142.5%)、経常利益8億35百万円(前年同期比121.7%)、四半期純損失45百万円(前年同期は1億50百万円の四半期純利益)となりました。

キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果、得られた資金は31億76百万円(前年同期に比べ16億40百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億37百万円の計上、減価償却費9億76百万円及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額5億71百万円並びに仕入債務の増加額15億38百万円等によるものであります。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果、使用した資金は6億31百万円(前年同期に比べ2億17百万円の増加)となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入1億12百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出5億60百万円、預り保証金の返還による支出89百万円及び差入保証金の差入による支出86百万円があったこと等によるものであります。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果、使用した資金は11億38百万円(前年同期に比べ8億70百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入れによる収入20億円があったものの、短期借入金の純減額5億円、長期借入金の返済による支出23億84百万円及び配当金の支払額2億54百万円があったこと等によるものであります。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

| 区 分 | 当第2四半期累計 (2011年2月1日から 2011年7月31日まで) | 前年同期間 (2010年2月1日から 2010年7月31日まで) |
|------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,176 | 1,535 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 631 | △ 413 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,138 | △ 268 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | 1,407 | 854 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,217 | 806 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,624 | 1,661 |

店舗情報

| 三重県56店舗 | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| マックスバリュ 北勢店 | マックスバリュ 津東店 | マックスバリュ ラパーク店 |
| マックスバリュ サンリバー店 | マックスバリュ 白塚店 | マックスバリュ 津久志本店 |
| マックスバリュ 生薬店 | マックスバリュ 津北店 | マックスバリュ 鶴方店 |
| マックスバリュ 四日市店 | マックスバリュ 港町店 | マックスバリュ 上野小田店 |
| マックスバリュ 山城店 | マックスバリュ 垂水店 | マックスバリュ 上野東川店 |
| マックスバリュ 桜花台店 | マックスバリュ 津城山店 | マックスバリュ 津流店 |
| マックスバリュ 笹川店 | マックスバリュ 川口店 | マックスバリュ 昭和橋通店 |
| マックスバリュ 菜女店 | マックスバリュ 白山店 | マックスバリュ 港十番店 |
| マックスバリュ 菟野店 | マックスバリュ ー志店 | マックスバリュ 稲永店 |
| マックスバリュ 長太の浦店 | マックスバリュ 香良洲店 | マックスバリュ 扶桑店 |
| マックスバリュ 若松店 | マックスバリュ 川井町店 | |
| マックスバリュ 岡田店 | マックスバリュ 松阪中央店 | |
| マックスバリュ 鈴鹿中央店 | マックスバリュ 郷津店 | |
| マックスバリュ 鈴鹿店 | マックスバリュ サンフラワー店 | |
| マックスバリュ 加佐登店 | マックスバリュ 学園前店 | |
| マックスバリュ 鈴鹿住吉店 | マックスバリュ 大石店 | |
| マックスバリュ 亀山みずほ台店 | マックスバリュ 大台店 | |
| マックスバリュ 亀山店 | マックスバリュ 多気店 | |
| マックスバリュ 芸濃店 | マックスバリュ 金剛坂店 | |

| 愛知県26店舗 | | |
|---------------|---------------|-------------------|
| マックスバリュ 旭岡店 | マックスバリュ 今池店 | マックスバリュ 小牧の内店 |
| マックスバリュ 味鏡店 | マックスバリュ 川原店 | マックスバリュ 米野木店 |
| マックスバリュ 若葉通店 | マックスバリュ 御器所店 | バリュセンター 藤が丘店 |
| マックスバリュ 一社店 | マックスバリュ 篠原橋東店 | バリュセンター 高針店 |
| マックスバリュ 福船店 | マックスバリュ 猪高店 | バリュセンター 向島店 |
| マックスバリュ 香流店 | マックスバリュ 昭和橋通店 | ザ・ビッグ エクスプレス 荒子店 |
| マックスバリュ 砂田橋店 | マックスバリュ 港十番店 | ザ・ビッグ エクスプレス ノボ店 |
| マックスバリュ 代官店 | マックスバリュ 稲永店 | ザ・ビッグ エクスプレス 五女子店 |
| マックスバリュ 自由ヶ丘店 | マックスバリュ 扶桑店 | |

| 滋賀県5店舗 | | 岐阜県2店舗 | |
|--------------|---------------|-------------|--|
| マックスバリュ 東近江店 | マックスバリュ 大津神領店 | マックスバリュ 岐南店 | |
| マックスバリュ 八日市店 | マックスバリュ 甲南店 | マックスバリュ 垂井店 | |
| マックスバリュ 駒井沢店 | | | |

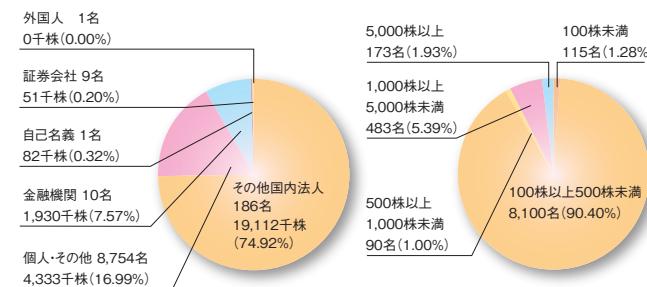


- 発行可能株式総数 80,000,000株
- 発行済株式総数 25,510,623株
- 単元株式数 100株
- 総株主数 8,961名
- 大株主 (上位10名)

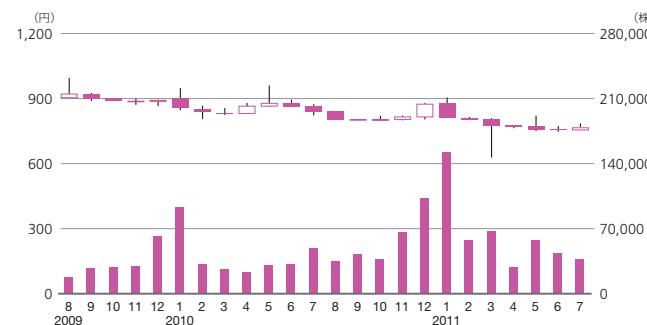
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|----------------------------|---------|---------|
| イオン株式会社 | 14,916 | 58.66 |
| 株式会社ウメト | 1,236 | 4.86 |
| 株式会社百五銀行 | 662 | 2.60 |
| 株式会社第三銀行 | 631 | 2.49 |
| 三菱食品株式会社 | 465 | 1.83 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) | 385 | 1.51 |
| 竹内 晶子 | 360 | 1.42 |
| 中西 久雄 | 320 | 1.26 |
| マックスバリュ中部従業員持株会 | 316 | 1.25 |
| マックスバリュ中部取引先持株会 | 259 | 1.02 |

(注) 持株比率は自己株式82,189株を控除して計算しております。

● 所有者別分布状況 ● 所有株式数別分布状況



● 株価および出来高の推移



- 社 名 **マックスバリュ中部株式会社** (証券コード 8171)
- 設 立 1973年8月21日
- 事 業 内 容 食料品、日用雑貨品等の小売販売
- 資 本 金 38億50百万円
- 本 社 〒515-8501 三重県松阪市大口町185番地の1
- 本 部 事 務 所 〒515-8501 三重県松阪市大口町255番地の1
- 店 舗 数 87店舗
- 従 業 員 数 922名 (正社員)
- 取締役および監査役

- 代表取締役会長 中西 進
 - 代表取締役社長 正木 雄三
 - 取締役 梅本 敏
 - 取締役 久留 幸二
 - 取締役 廣村 敦
 - 取締役 望月 俊二
 - 取締役 小泉 寛
 - 常勤監査役 竹越 彰
 - 監査役 岡田 次生
 - 監査役 濱崎 洋行
 - 監査役 清水 良寛
- (注) 監査役全員が社外監査役であります。

株主メモ

| | |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度 | 毎年2月1日から翌年1月31日まで |
| 基準日 | 毎年1月31日 そのほか必要がある場合には、あらかじめ公告いたします。 |
| 定時株主総会 | 毎年4月に開催 |
| 公告方法 | 電子公告 ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 (http://www.mv-chubu.co.jp/irinformation/) |
| 上場証券取引所 | 名古屋証券取引所 |
| 株主名簿管理人 | 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 郵便物送付先 (電話照会先) | 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |
| ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について | 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。 |
| ・未払配当金の支払いについて | 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。 |

株主優待制度のご案内

毎年1月31日現在の、100株以上所有の株主様に、「株主様ご優待券(額面100円)」を贈呈いたします。「株主様ご優待券」は、全国のマックスバリュ、イオンなどでお買物1,000円毎に1枚ご利用いただける割引券です。

| | |
|------------------|--------------------|
| 100株以上1,000株未満 | → 50枚 (5,000円相当) |
| 1,000株以上2,000株未満 | → 100枚 (10,000円相当) |
| 2,000株以上5,000株未満 | → 200枚 (20,000円相当) |
| 5,000株以上 | → 250枚 (25,000円相当) |

毎年4月発行(年1回)。



「株主様ご優待券」をご利用されない場合は、ご希望により「松阪牛しぐれ煮」を送付させていただきます。



100株以上 → 150g入り
1,000株未満
1,000株以上 → 300g入り

◀写真は300g入りです。

(注) 株主優待制度は変更になる場合がございます。